第１５回　全道高等学校文芸研究大会
評論・随筆分科会　実施要領

日常の中の非日常を発見する
～「感性」を「エッセイ」に昇華する方法～

今回は、特に随筆＝エッセイについて学びます。評論でもない、小説でもない、日記でもないけれど、評論にも似ているようで、小説にも似ているようで、日記にも似ているようなわかりずらさがある随筆＝エッセイ。芸能人やスポーツ選手など、有名人だけが書くものというイメージもあるかもしれません。しかし、誰だって、何気ない日常をどう切り取るか、どう表現するかで多くの人の共感や支持を得られる随筆は書けるのです。今回は自分の文章をグッと随筆＝エッセイらしくするちょっとしたコツを学んでみませんか。

講師：辻村淑恵　先生（作家・文学岩見沢編集）

会場：まなみ～る岩見沢市民会館・文化センター　音楽室

＊３日間の流れ＊

１０月５日(木)　昼食・文学研修　12:00～16:30

（岩見沢を散策し、エッセイの素材を探そう）

時間内に
出来上がらなければ
持ち帰って完成！

１０月６日(金)　分科会Ⅰ　9:40～12:00 頃

応募作品の合評会

分科会II　13:00 頃～17:00

応募作品の合評会　→　エッセイ実作に挑戦

１０月７日(土)　分科会III　9:00～10:50

完成させたエッセイの発表、交流会

評論・随筆分科会担当専門委員

大阪　隆（札幌創成高等学校）